

堀内議員 通告どおり、2点質問させていただきます。まず1点目ですが、健全な利益が出る事業や政策をについて、ますます財政状況の厳しい牟岐町ですが、旧牟岐小学校の改修に続き船戸荘も改修されると聞いています。ここで一度過去の例から学び、継続可能な事業なのか、冷静に検討する時間を持つべきではないでしょうか。物産館、鬼ヶ岩屋温泉は、残念ながら運営継続ができず、モラスコむぎも委託業者撤退時期が迫っています。「地域を活性化する」という抽象的な従来型の地域開発は、残念ながら収益を出せず、閉鎖、閉館している事例は他の地域でも多くあります。もちろん、金銭的な収益が少なくても必要な施設はありますが、それらは行政が新しく作るのではなく、住民の要望等によって検討されるのが健全なものではないでしょうか。学校や病院のようになくってはならないものは、しっかりと維持し、暮らしがより便利になるものは、住民と相談し進め、新しく始める事業や施設には念密な事業計画を練り、運営していくための収益についても棚上げせず目標を立てるべきです。地方創生には、「ヒト・モノ・カネ」と言われますが、圧倒的に「カネ」の部分の意識が低く感じます。今までと違い、行政の行う事業でも利益に対する意識改革が必要なのです。そこで、今後のモラスコむぎや船戸荘には、どのような運営計画があるのか。また、出羽島が重伝建に選定されましたが、どのように経済効果につなげていく計画があるか示していただきたい。ふるさと納税の進展状況について。町HPには、カタログ写真が掲載され、かなり解かりやすくなっているようですが、ふるさとチョイス等への写真掲載ができていないようですが、何か問題があるのか。以上、2点質問させていただきます。

杣富議長 福井町長。

福井町長 堀内議員のご質問の内、ふるさと納税の進捗状況については担当課長からお答えいたしますので、私は、行政による健全な利益がでる事業と政策についてお答えいたします。議員ご認識のとおり、牟岐町は徳島県下で最も財政的に厳しい状況にあります。したがって、予算化に当たっては不要不急の事業は行わない、防災と地方創生においても優先順位を付け、また、できるだけコスト削減を図りながら実施しています。また、行政の民営化を図るなど経費の節減と民

間活力の高揚を期待した施策も併せて実施しています。さて、地域活性化のための行政主導の事業は過去の事例から継続性がなく、住民の要望により実施検討すべきでないかのご質問ですが、当然、これまでの公共事業は、無駄と言われるものもありましたが、恐らく個々の施設は、地域の住民の方々のご希望により、また、地域文化と活力の底上げのため、実施してきたと思います。小中学校が統合により、全国的に廃校となる学校が沢山生まれていますが、廃校となった学校も、恐らく建設当時は必要なものであったはずです。時代の流れとともに社会情勢や求められるものが変化し、その結果、不用となる物がでるのはある程度仕方がないことかと思えます。そこで、『モラスコむぎ』と『船戸荘』の今後の運営計画と、出羽島重要伝統的建造物群の経済的活用計画についてですが、まず、『モラスコむぎ』についてですが、先に一山議員からのご質問にもお答えいたしましたように、これまでは、牟岐町のただ一つの観光拠点として運用されて参りました。貝の博物館を核として、指定管理者がダイビング事業を中心として活動しながら、漁師さんの水族館などの企画展示なども行いながら運営して参りました。この施設は、松が磯という素晴らしい景勝地に立地する、意匠的にも優れた木造建築物であることから、今後とも、町外の方々を誘引する施設として、新しい指定管理者に運営をお願いしたいと考えています。つぎに『船戸荘』ですが、これは、出羽島の元木邸同様、無償で譲り受けた建物であり、現在、牟岐町の地方創生を進める中で、増え続ける空き家の活用方法としても試験的に実施しようとしているものです。現在、町外の方々の滞在施設が不足していることから、牟岐町で活動していただける学生さんの活動の一環としても改修を図ろうとしているもので、できるだけ国等の補助金を活用しながら実施したいと考えています。交流施設を幾つもないとのご意見もございますが、現在、全ての市町村が懸命に進めているのは、移住定住の促進であり、町外の方に牟岐町を好きになってもらう、また、体験居住してもらうための施設ですので、牟岐町の幾つかの場所にあっても良いと考えています。つぎに、『出羽島重要伝統的建造物群』の経済的活用計画についてですが、元来、この重伝建の選定は、島民の皆様の生活利便性の持続性の確保のため、また、日本の文化的に重要な歴史的建造物群の保全のために実施しているものですが、これまで選定を受けた他の自治体の状況を見てみますと、選定後数年で、観光客の爆発的な増加があり、地域の観光拠点となっています。また、出羽島の景観の素晴らしさは、平成25年のアート展で多くの方にご理解を得られたように、今後、牟岐町としては、島民の皆様の生活を第一に考えながらも、牟岐町の観光の拠点として、観光振興に生かして参りたいと考えています。具体的な経済効果といたしましては、建物の建築需要、道路等の改修需要、来島者の大幅な増加、それに伴う周辺地域への交流人口の増加等が見込まれると考えています。出羽島の経済効果にかかる詳しい説明は、教育委員会

からお答えいたします。

枅富議長 田中産業課長。

田中産業課長 私からは、堀内議員ご質問について、町長の答弁と重なるところもありますが、補足という形でお答えさせていただきます。まず船戸荘の活用ですが、町の所有する空き家民宿改修をとおして、建築の教材を生かした人材づくりを目的に、牟岐町と建築にたずさわろうとする徳島大学生との交流を図り、一年単位のような短期間ではなく継続的なつながりを目指しています。そのため、ご指摘いただいたようなカネという意味での利益を見込んではいません。しかしながら、ランニングコストの高い施設にはしたくありませんので、利用者からの利用料でまかなえる施設を目指して、3月の最終案を踏まえて議論したいと考えています。つぎに「出羽島の重伝建の選定に伴い、いかに経済効果につなげていく計画か」のご質問についてお答えさせていただきます。重伝建の主たる目的は、島の景観を後世に残す町並み保存ではありますが、持続可能な島の活用のために、すでに出羽島で活動している団体や、新たに連携していくことのできる各種団体と共に、今できる可能な形で、交流者が島に訪れるきっかけとなる取り組みを進めて参ります。その取り組みを通じて「ヒト、モノ、カネ」のヒトの増加により、経済効果へつながると考えています。

枅富議長 久米教育次長。

久米教育次長 私からは、一部詳細の補足をさせていただきたいと思います。私からは、出羽島の重伝建選定に係る経済効果の見通しという関係で、現在、これは教育委員会という立場でなくて、課を越えて連携した取り組みということで、ご理解いただきたいと思います。まず議員がおっしゃる「ヒト・モノ・カネ」という三要素、これを捉えて説明をさせていただきたいと思いますが、一つものとして、直接的な要素と間接的な要素というふうにとえています。町長からもありましたが、直接的な要素としましては、保存工事、その他の工事が考えられています。これらは経済活動を誘引する資源というふうに捉えていまして、具体的に申しますと、保存工事では、現在、20棟、大小合わせて要望があります。5年程度のストックをもっているわけです。当然、ここ

には施工業者との経済活動が発生するということですし、また、老朽化に伴いまして、今後も増加する見込みです。その他に町の施工の工事、合わせまして、実際にそういった経済活動が発生するものと予測しています。また、補助事業の適用によりまして、こういった改修物件、その意欲も増加するものというふうに考えています。ここから経済効果を期待できるものとしたしましては、施工業者の直接的な経済効果と合わせまして、現在、要望、需要が既にあるものも含めまして、島内での食事、宿泊、雇用としましては、船舶による物販、島内への重機での運搬、軽作業というのが既に発生しています。あと倉庫、作業ヤード等の賃貸です。あと職人、技術者の研修育成というのも既に行われています。もちろん、大生丸、連絡船の需要もかなり伸びているということです。このため町の補助金も削減できたという効果も既に発生しています。その他の工事といたしまして、今後、防災、環境、町並み、その他構造物等の補助の適用がありますので、これらの経済活動も見込んでいます。それから、間接的な要素としましては、文化財ということでもありますので、文化財的な価値、建築物そのものの価値というのが発生すると考えています。これも「モノ」ということで捉えていただけたらと思います。ここから経済活動の資源といたしましては、当然、視察研修等の場ということで、ここは「ヒト」の流れにつながるというふうに考えていまして、文化財の施設です。行政、教育機関、民間です。それから、文化財マイスターの研修、これも既に実績があります。あと建築技術者の講習、後継者の講習、これも実績があります。今後も見込まれています。建築系、地域創生系の学生の研修合宿、大学のゼミ、サテライトゼミという形で、既に要望等もあります。こういった人の流れの中から、伝建という性格上、専門性から発信力、かなり高いものがあります。ここから交流人口や関係人口の増加というのも見込んでいまして、こういった情報の中から既に移住者の実績もあります。その移住者の中からこれまで放置されていた畑の再生であったり、というふうなことも既に発生しています。こういった中からも直接的な要素と一緒に食事、宿泊であったりとかいうふうなことが見込まれているところです。こういった事業につきましては、教育委員会と

いたしましては、文化財の保全、それから、もちろん産業、経済、福祉、あらゆる面で持続可能な集落として残していくための活動、これら全てが先の三要素につながった見通しです。ただ、最後の「カネ」というところです。ここにこれらの動きを「カネ」に変化するの、ここは行政から民間、事業体の皆様の民間活力、意欲から生まれるものというふうに捉えています。現在の時点ではそういったことが見通しとして持っているところです。以上です。

枅富議長 宮内総務課長。

宮内総務課長 私からは、堀内議員の「ふるさと納税の進展状況は」について、お答えさせていただきます。まず、ふるさとチョイスへの写真掲載ですが、現在は、ふるさとチョイスへは無料で掲載できる情報を掲載しています。写真の掲載、その他、サービスを受けるには、運営会社との契約で料金等が必要になります。現在、ふるさと納税のポータルサイトとの契約を検討中ですが、議員がおっしゃいましたポータルサイトについては、現在把握している分だけでも「ふるさとチョイス」の他に「さとふる」「わが街ふるさと納税」「ふるさとエール」「ふるぽ」「ふるなび」「楽天ふるさと納税」「ふるさとツアー」「ANAのふるさと納税」「ふるさとぷらす」などのポータルサイトがあります。各ポータルサイトについては、さまざまな特徴があり、一概にここがいいというのは特定しにくいところもあります。今後、各ポータルサイトの運営会社の料金設定、例えば寄付金の何%を手数料として支払うのか、契約の内容等を丁寧に分析して参りたいと考えています。その上で、予算の計上をおこなってまいりたいと考えています。以上です。

枅富議長 堀内議員。

堀内議員 ありがとうございます。再問させていただきます。船戸荘と空き家の改修のモデルというか、そういうので使っていきたいという町長の答弁があったと思いますが、今、されている事業等は、志というかは基本的には素晴らしいと思います。学生との交流なのですが、もっとお金をかけずにできるのではないかというのは、正直なところです。船戸荘でなくても普通の空き家

を町で買うまでいかなくても、探して修理してモデルハウスにするであつたりとか、後は交流施設にするのでしたら、今、空いている鬼ヶ岩屋温泉、これから空くモラスコむぎを視野に入れて、今ある施設を使つたりとかいうのもいいのではないかというふうに思います。一番キープするのは、新しい事業等とか進めたら、もちろん人手が必要になってくると思うのですが、町職員の方も、なかなか激務で忙しいということなので、あまり仕事を増やさない、極力減らしていった方がいいのではないかと思います。インターネットに接続するパソコンが専用になって、効率がかなり悪くなってきたりとか、どうもこれから厳しくなってくると思いますので、そこら辺をシビヤに見ていただきたいと思います。なかなか行政がすることで収益、金というふうに今までやってこなかったのですが、やはり人が動くときには人件費が発生していますので、人件費というのは税金から職員の方というのは出ていますので、どうしても新しい事業を続けていったりサポートしていくことには、お金がどうしてもランニングコスト的なものが出てきていると思うのですが、やはりお金がかかっているのは、投資した分は回収していかないと、財政はなかなか厳しくなっていくと思うのですが、お金に対する意識、そして、何かすると費用がかかってくる、その意識は、皆さんどのようにお持ちなのか、質問させていただきます。あとふるさとチョイスのと、いろんなサイトが増えてきていまして、今はふるさとチョイスと年末に向かつて、かなりテレビCMしてきたりとか、全国放送でふるさと納税をしたらこういうふうに税金がああだ、こうだ出ていますので、早急に検討していただきたい。年末には難しいと思うのですが、そこら辺を検討していただけたらと思います。一つ変な話しになりましたけど、皆さんが事業で動いたりするためにお金が発生しているという意識がどれぐらい持たれていらっしゃるのかという、抽象的な質問で申しわけないのですけど。

枅富議長 分かりやすく答えられるようにお願いします。

堀内議員　そうですね。難しいので改めます。再問を止めさせていただきまして、職員の方が動くところには人件費が出ていますので、回収までいかないですけど、シビヤに考えていただきたいと思いますので、以上、再問でなくて。

枡富議長　要望で。

堀内議員　要望をお願いします。